

教科名	対象学年	使用した資料（参考にした資料）	TYPE
国語	小学6年	授業アイデア集【小学校版】p17, 18	Ⅲ

授業内容 立場と意図をはっきりさせながら、パネルディスカッションをしよう。

身に付けたい力 立場を明確にして、話し手の意図をとらえながら質問したり、根拠をはっきりさせて話したりすることができる。

教科名	対象学年	学校名	課題の見られた問題	TYPE
国語	6年	上里町立長権小学校	26年度 全国 B1	I
授業の内容	立場と意図をはっきりさせながら、パネルディスカッションをしよう。			
身に付けたい力	立場を明確にして、話し手の意図をとらえながら質問したり、根拠をはっきりさせて話したりすることができる。			

立場と意図をはっきりさせ、根拠や理由を明らかにして話し合う。

【指導のポイント】 根拠や理由をはっきりさせて話す。

全体テーマ『地球の自然を減らしていくために私たちは何をしたらよいか』に対する各自の考えをもとに同じ興味をもっている人達でグループを作り情報カードを作成する。

グループの考え（森林を守る）

興味を持っている人達で作ったグループをまとめた情報カード

【情報カードを作成させる時の指導のポイント】

テーマに対する自分の考えの根拠や理由を明確にするために、それぞれが異なる森林の働きを調べさせることにより、グループとして作成する立論カードを説得力のあるものに仕上げられるようにする。

A 森をみやす立場から
B 森林の現状から自分の住む地域を見つめる立場から
C 森林が災害を防ぐ働きがあることによりできることを考える立場から
D 森林の使用をどう減らすかの立場から

その結果左のA、B、C、Dのような根拠をはっきりさせた意見を各自が持てるようになる。

A 森林はまず木が酸素を出し、二酸化炭素を吸収してくれるはたらきがあること、私達のまわりの空気は30億年かけて作り出されたことなどがインターネットで調べてわかった。

このことから自分達でできることは、身近な木を大切に、〇〇小でも取り組んだ緑のカーテンで緑を増やすこと、

B 人の開発のために、ここ10年の間に毎年5万㎡の木が切り倒されていることが調べてわかった。

自分達でできることは、開発のために身近な自然を破壊しないよう呼びかけるとともに、私達の地域にもある夕保のコモスや栗畑などを大切にしていこうと思う。

C 森林は斜面に根を張ることによって、土砂崩れなどの災害を防ぐ働きをしてくれることがわかった。

自分達でできることは木の大切さを友達に知らせ、身の回りにある木々を枯れさせないように世話をします。

D インターネットから調べたことによると日本は、茶や家具を以て別に割り箸250億本、既ボールや紙製品は年間3千万トンも作られていて、世界の半でもたくさん木を使う国として知られている事がわかった。

自分達でできることは木でできたものや割り箸、紙などを積極的に使わないようにすることだと思ふ。特に割り箸の使用はマイ箸を使うことですぐに減らすための活動ができると思う。

情報カードをもとにグループで話し合いながら、立論カードをまとめる。

立論カード

意見を述べるための根拠の例

- ・森林の役割、森林の現状
- ・日本と森林のかわり
- ・森林の保護の対策
- ・森林の現状などを表すグラフや表
- ・自分達でできること

【グループ内の情報カード】 どの事実を活用するか、構成をどうするか、伝え方をどうするかを考えさせ説得力のある立論カードを作成できるようにする。

【指導のポイント】 意見や質問をする時には、相手の意見の中から必要な文や語句を引用して、話しをさせることにより、目的や意図に応じた話し合いにつなげる。

引用せずに意見を述べている児童の文例
（全国学力調査8月版①三の誤答例）

大野さんの意見に対して意見があります。パソコンを使うと字の大きさや形はそりい読みやすくなります。でも思い出の字として記憶に残るので手書きでも良いと思います。

引用することの大切さを学んだ後の児童の文例

後藤さんの意見に対して意見があります。「私達が吸っている空気は30億年かけて作り出された」とあり、人間のための森林の必要性がわかるので、動物のすみかとしても私も森林をまもっていききたいと思います。

大野さんの意見に対して意見があります。パソコンだときれいに出来上がるけれど手書きの方が6年生の時の字が読せて、6年生のころを思い出せていいと思います。

後藤さんの意見に対して意見があります。「木は根を張り土砂崩れを防ぐ役目もしています。」とあり、森林の大切さがわかるので、私も森林を守りながら温暖化を防いでいきたいと思います。

【授業のポイント】

- 根拠や理由をはっきりさせて話すために、調べるテーマを明確にして話す内容を整理させてからパネルディスカッションへと進めるように指導する。
- 目的や意図に応じた話し合いにつなげるために、引用することの大切さを確認し合い、「引用」「根拠」「自分の考え」を明確にして話せるように指導する。

パネルディスカッションの様子です。

パネルが資料を、読んでわかりやすく、説明しています。

【授業のポイント】

○モデルとなる立論カードを示すことで、意見のまとめ方を具体的に考え、自分の立場に合った情報を選べるようにする。

【授業の様子】

・『これからの社会に必要な公園』というテーマを設定した。その際、「情報カード」（調べた情報を分類・精選するため）と「立論カード」（考えを整理して意見をまとめるため）を作成し、調べてわかった情報からどのように立論していくかを具体的に考えた。立論する際のポイントを以下の三つに絞り、指導した。

＜意見のまとめ方＞

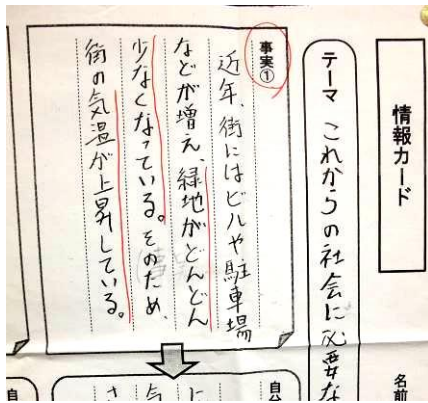
- ・「立場」を決める
- ・始めに「立場」を書く
- ・自分の「立場」の根拠となる情報を選ぶ

【効果】

・テーマに対する自分の立場をはっきりさせ、その立場の根拠となるような情報を選んで意見をまとめることができた。

【留意点】

- ・立場に合った情報の選び方を具体的に理解させるために、モデルとなる立論カードを示す際に、モデルの情報カードの中のどの情報を選んだか考えさせた。



【授業のポイント】

- グループで立論カードを読み合い、直した方がよい点を伝え合うことで、立場に合った根拠とまとめを考えられるようにする。

【授業の様子】

- ・推敲の視点を示し、モデルの立論カードを実際に推敲して、推敲の仕方を具体的に考えた。その後グループで立論カードを読み合い、直した方がよいところを付箋紙に書かせ、伝え合った。

<推敲の視点>

- ・始めに「立場」が書かれているか
- ・自分の立場の妥当性を示す根拠となっているか
- ・根拠はわかりやすいか
- ・もっとよい根拠はないか
- ・「立場」とまとめは合っているか

【効果】

- ・グループで立論カードを読み合い、助言し合うことで、推敲の視点に具体的に気付き、説得力のある意見をまとめることができた。

<児童の文例>

立場 私は、「福祉」という立場から考えました。

根拠① これを見てください。障害者、お年寄り、健康な人の割合を表したグラフです。全体の5%が障害者、25%がお年寄りだとわかります。

根拠② また、最近、障害をもつ人でも遊ぶことができる遊具がある公園や、人間の五感を使って楽しめる公園があります。

まとめ このような、様々な立場の人が楽しめる、ユニバーサルデザインを多く取り入れた、福祉の充実した公園が必要だと思います。

【留意点】

- ・立場と根拠・まとめが合っているか、説得力があるか、という点に目を向けさせるため、まず、「推敲の視点」として示したポイントを中心に推敲させ、誤字脱字などその他の観点については後で見直させた。